

一心寺門前浪曲寄席のご案内

親鴨会関西支部の浪曲寄席鑑賞会も今回で三回目となります。
大阪・天王寺にある浄土宗一心寺で毎月3日間開催される「一心寺門前浪曲寄席」の鑑賞です。
毎回十名前後の参加者により、日本の伝統芸能を楽しんでいます。

一心寺 門前浪曲寄席

1. 日時 平成31年2月9日(土) 11時半 集合
2. 集合場所 JR天王寺駅 中央改札口
集合後移動：
→ 阿倍野地下街(昼食) → 一心寺南会所(浪曲寄席会場)
3. 浪曲寄席 13:00 開演
出演 松浦四郎若、京山小圓嬢、春野恵子、天中軒景友
演者の紹介は次ページを参照ください
4. 費用：すべて自己負担
寄席入場料：一人 2,000円(自由席)
昼食：阿倍野地下街のレストラン
5. 申し込み
会場が50~60人と狭いので、先着10人までの受付とします。
世話係西田宛メールにて申し込みください。メ：2/7(木)
Mail address：yoshion@kcn.ne.jp
なお、全席自由席です。当日の込みようによっては席はばらばらになる可能性があります。
6. 雨天対応：雨天決行です
連絡：当日 西田の携帯へ 080-6117-2444
前日まではメール(上記)でおねがいします
7. 出演者のご紹介

松浦 四郎若

愛媛県西宇和郡出身。サラリーマンから浪曲師を志し、昭和45年松浦四郎に師事。「勸進帳」「太閤記」など多数の古典の演目を得意とする一方で新作にも精力的に取り組む。一心寺での活躍が実り、平成21年度文化庁芸術祭大衆芸能部門優秀賞を受賞。まさに浪曲界を牽引する演者。謹厳実直な師匠に倣い、決して出すぎず目立ちたがらず、周囲への気配りをもって一步一步芸道精進を重ねるその姿は「いぶし銀」の光を放ち、浪曲人の手本的存在として、広く信頼を集めている。



京山小圓嬢 (きょうやま こえんじょう)

叔父が3代目京山小円だった縁で1946年に入門し京山小福を名乗る。後に菊地容子を経て1971年に引退し隠居中だった初代に譲り受け2代目小円嬢を襲名。公益社団法人浪曲親友協会常務理事。平成25年度文化庁芸術祭大賞受賞。



前半を抑えめに入り、終盤の大ゼメと呼ばれるクライマックスの場面の盛り上げに成功し、関西女流浪曲の第一人者としての実力を示す。

ローオンレコードより『唐人お吉』を吹き込んでいる。

弟子には菊地まどか。

春野 恵子

東京都出身。東京大学教育学部卒業後、日本テレビ系バラエティ番組「進め！電波少年」で人気を博したのち、関西浪曲界の大御所二代目春野百合子に弟子入り。

2006年の初舞台の後、独自の発想で、浪曲復興のために勢力的に活動。女性の浪曲師と曲師だけで「新星浪曲☆新宣組」を結成、カフェやギャラリーなどで講演。



過去に一世を風靡した浪曲の現状を憂い、「聴いてもらうためには浪曲だけやって安穩としてはいけない。」と、落語などジャンルを超えた演芸・伝統芸能とのコラボ企画を通じて、若者への浪曲の普及に努めている。

天中軒景友

東京都出身、平成29年、五代目天中軒雲月に弟子入り。

同年、大阪島之内浪曲寄席にて初舞台。浅草木馬亭の定席に出演中。10年間スペインでギタリストとして活動した経験あり。

